

「やまなし食と農をつなぐ体験教育推進事業」の取り組み

中北地域普及センター

県では、農作業や農産加工の体験を通じて、子どもたちの農業や食への理解を深めるとともに、将来の本県農業を担う人材の育成を目的として、「やまなし食と農をつなぐ体験教育推進事業」に取り組んでいます。

中北地域普及センターでは、JA 南アルプス市女性部の若手グループ「JA フレッシュミズ」を指導者に迎え、南アルプス市立豊小学校の5年生を対象に、年間を通じたスモモ栽培の体験教育を実施しています。

6月26日には、スモモ（太陽）の傘かけ体験や共選所の見学を行いました。雨の中での作業となりましたが、児童たちは丁寧に傘かけを行い、体験後には「楽しかった」「もっと傘かけをしたい」といった感想が多く聞かれました。

共選所の見学では、JA 南アルプス市の職員にもご協力いただき、スモモの出荷について学習しました。6月中旬から8月にかけて10品種以上のスモモが全国へ順次出荷されていることなどが紹介され、児童らは興味を持って学んでいました。

今後は、スモモの収穫やジャム作りなどの体験を予定しています。引き続き、子どもたちが農業や食への理解を深められるよう取り組んでまいります。



スモモの傘かけ体験



共選所においてスモモの品種を学ぶ